

作曲公開レッスン

Composition Masterclass

アンサンブル・アンテルコンタンポラン

Ensemble intercontemporain

ジャック・シュトゥルツ(ヴィオラ) マーティン・アダメク(クラリネット)
 Jack Stulz (viola) Martin Adámek (clarinet)

Translator: Kazuko Okamoto

<PROGRAM>

<Jack Stulz (Viola) >

- ◆ 16:15~17:15 B512
Yuki OYAKE (Research Student)
Bartók Béla - Viola Concerto
- ◆ 17:30~18:15 B studio
Contemporary ways of playing

<Martin Adámek (Clarinet) >

- ◆ 18:20~19:05 B studio
Haruna TANI (Senior)
Bruno Mantovani - Bug

2025. 4/8 (Tue)

16:15~19:05

Tokyo College of Music
Ikebukuro Campus
B512 & B studio

アンサンブル・アンテルコンタンポランは、1976年、ピエール・ブーレーズが、当時の文化大臣、ミシェル・ギー、著名な芸術支援者ニコラス・スノーマンの協働と支援を受けて設立した「ソリストたちのアンサンブル」である。

アンサンブルの31人のメンバーは全員がソリストとしての優れた力量と活動実績を持ち、20~21世紀の音楽への情熱を共有している。

メンバーは恒久的な契約で雇用され、アンサンブルの主要な目的である若い音楽家や一般の聴衆のための演奏、そして新しい音楽の創造、教育活動に携わっている。

現代を代表する作曲家の一人である、音楽監督、マティアス・ピンチャーの芸術的指導の下、作曲家と緊密に協力し、楽器演奏の技術を徹底して探求する一方、さらに音楽、ダンス、演劇、映画、ビデオ、視覚芸術と連携したプロジェクトを開発している。

アンサンブル・アンテルコンテンポランは、フランス国立音響音楽研究所 IRCAM と共同で、合成音の生成の分野でも活躍している。一部の作品は、パリ市長財団の支援を受け、定期的に新しい作品への委嘱と発表が行われている。

さらにアンサンブル・アンテルコンタンポランは子ども向けのコンサート、学生向けのクリエイティブワークショップにも取り組んでおり、未来の演奏家、指揮者、作曲家向けのトレーニングプログラムなど、音楽教育に重点を置いていることでも知られている。

フランス政府文化通信省、パリ市議会から資金提供と支援を受け、シテ・ドゥ・ラ・ムジーク・フィリハーモニー・ド・パリを本拠地に、フランス国内外で演奏と録音を行い、世界中の主要なフェスティバルに参加する、フランスを代表するアンサンブルである。

入場無料 ・ お申し込み不要

お問い合わせ先: 国際交流センター
study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp